

# 子どものためのテーマと活動で学ぶ日本語

## ---対象者別ファイル形式の教材---

平成24年度文化庁委託事業

生活者としての外国人のための日本語教育事業

地域実践プログラム（A）

「標準的なカリキュラム案」を用いた教材実践例

作成：地球っ子プロジェクト

## 教材の構成

ユニット (U)	コース (C)	タスク 目標	生活上の行為 の事例	ページ 数
U 1	水族園に行こう			
	C 1	迷子にならないように、迷子札を施設のスタッフに見せて、自分の名前と、引率者の携帯電話番号を伝えることができる	IX-20 4401-4403	5
	C 2 中級	電車に乗って水族園に行き、施設を楽しむことができるように準備する	IX-20 4401-4403	5
	C 3 初級	水族園について知り、興味のある生き物や展示、目的地への行き方などの情報を得る	IX-20 4401-4403	10
U 2	ハッピーサタデーに参加して、年賀状を作ろう			
	C 1	公民館の子ども向け行事に参加して、指示を聞いたり、わからない箇所を質問して、作品を完成させることができる	VIII-16 3501100	5
	C 2 初級	年賀状作りの目的を理解して行事に参加できるように、年賀状や郵便物の出し方、指示の聞き方を学ぶ	VIII-16 3501100	4
	C 2 中級	行事に参加して、ちぎり絵で年賀状を作り、送ることができるようにする	VIII-16 3501100	5
	C 3 初級	正月と年賀状の習慣を通じて日本の文化を知る 正月の挨拶を言ったり、年賀状を書いて友達や先生に新年の希望を伝える	VIII-16 3501100	6
	C 3 初中	作成中		

	C 3 中級	年賀状の目的を理解して、年賀状の書き方、出し方を学び、実際に送ってみる	VIII-16 3501100	6
U 3	「みんなで遊ぼう」に参加しよう			
	C 2 初級	行事のチラシを読んで自分の意志を伝え、参加／不参加を決める	IX-20 4403030	4
	C 2 中級	作成中	VIII-16 3501100	
U 4	健康・安全に暮らそう			
U 4 (1)	C 1	担任の先生や、保健室で病状を伝えることができる	I 010310	5
	C 3 初級	流行性の病気について知り、その予防法を考える／病気の症状を訴えることができ、日々の生活の中で予防法を実践することができる	I 0301090	6
	C 3 中級	インフルエンザについて理解し、適切に対処できるようにする	I 0301090	4
U 4 (2)	C 1	交通安全の説明が理解できる	I 0401030	4
U 4 (3)	C 2 初級	「あっ、地震だ！」地震について理解し、様々な場所で地震がおきたときを想像して適切に対応する準備をする	I-02 0501030 0502020	5

U…ユニット（タスクと目標）

C…コース（学習対象者）

C1…小学校低学年、C2 初…小学校高学年初級、C2 中…小学校高学年中級

C3 初…中学校初級、C3 中…中学校・高校中級

## 各コースの構成

- 1) 指導ノート ユニットのタスクと目標  
全体の流れと想定授業時間
- 2) 小タスク 1 各ユニットの目標課題のイメージ作り
- 3) 小タスク 2 目標課題を遂行するために必要な言語活動 1
- 4) 小タスク 3 目標課題を遂行するために必要な言語活動 2
- 5) 小タスク 4 目標課題を遂行するために必要な言語活動 3  
または発展的な活動

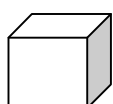
### 【会話例の記号】

T…日本語の指導者      子…日本語の学習者である子ども

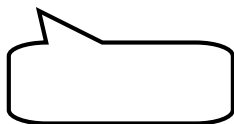
S…言語活動に登場するサポーター、スタッフ（駅員、郵便局員、  
公民館職員、保護者など）

## 使い方

指導者は、必要と思われるタスクの内容（ユニット）を選び、指導するグループの年令、日本語のレベルに応じたコースのファイルを選ぶ。ファイルされたテキストを指導ノートを参考にして授業案を作成する。同じユニットで、異なる活動を行った場合は、その都度、作成日、作成者、実施日を記入し、改訂版を追加していく。同様に新しくユニットを作成した場合もファイルに追加する。生教材、ワークシート、指導例などをファイルに保存していく。ファイルは他の指導者と共有し、再利用できる教材を増やしていく。



この教材を使った授業に必要な道具、教材、支援者を「準備する物、サポーター」にあげてある。



「ことばと表現」には、タスクを遂行するために覚えてほしい語彙と、表現文型をあげてある。【 】は他のことばに置き換えられるという意味で用いた。

表記は、統一されたものではなく、この教材を作るに当たって、作成者が実際に用いた対象者に適したものが使われている。ひらがな、カタカナ、漢字、ルビつき、ルビなし混交であるので、適宜変換して応用されたい。

監修及び編集 地球っ子プロジェクト 浦和かほる

2013 年 3 月 31 日